奈良教育大学特別支援教育研究センター

NFWSIFTTER

TEL&FAX 0742-27-9314

E-mail tokubetsu@nara-edu.ac.jp

HP: https://cp-support2.nara-edu.ac.jp/hp/

■スタッフだより

中西 陽 (特任准教授)

1年間の産休・育休を経て復帰しました。親になり、子育ての大変さを痛感すると同時に、また発達相談を通して、様々な困難のある子どもと保護者の方に寄り添った支援ができればという思いが湧いてきました。どうぞよろしくお願いいたします。

■公開講座のお知らせ

令和 5 年度 1 回目 の公開講座は、久し ぶりに対面での講演 会を企画していま す。ご興味のある方 は、HP よりお申し 込みください!



冬頃にも開催予定ですので、また HP のチェックをお願いします。

ごあいさつ

教職大学院 教職開発講座 准教授 林 喜子

はじめまして。令和4年9月に着任いたしました林喜子(はやしのぶこ)と申します。日本における特別支援教育の成り立ちについて、歴史の視点から研究しています。歴史のなかで実際にどんなことが起きていたのかを丁寧に見ていくことを通して、現在や未来の子どもたちが安心して生きていくことのできる学校や社会のあり方を考えたいと思っています。現在は、教育の歴史のなかで障害のある子どもが教育や学校、そして社会にどのようにアクセスしたり、またはアクセスできなかったりしたのかに関心をもって研究に取り組んでいます。

冒頭で「はじめまして」とご挨拶させていただきましたが、実は特別専攻科と大学院修士課程の計3年間を学生として本学で過ごしていました。母校に教員として戻って来られたことを嬉しく思うと同時に、みなさまのお役に立てるよう頑張らなければと身の引き締まる思いです。本センターには、兼任教員として微力ながら携わらせていただきます。これからどうぞよろしくお願いいたします。



特別支援センター スタッフ一覧

センター長:越野和之(教育学部兼務)

副センター長:全 有耳(小児科医・教職大学院兼務)

センター専任教員:富井 奈菜実(公認心理師)

小 松 愛 (臨床心理士・公認心理師)

相 談 員:角田 悠至 (臨床心理士・公認心理師)

教育学部兼務教員:中西陽(臨床心理士・公認心理師)

教職大学院兼務教員:中川 貴明

林喜子

事務員:大久保直子・大槻寿子

令和4年度の取り組み

教育相談・発達相談

内訳 相談総数 283 件 ※研究協力等を除く 発達相談 45 件 238 件 /教育相談等 保護者・子ども向けプログラム(のべ人数) 寺子屋(第2·第4水曜+1回/月) 70 名 学生スタッフ 100名 鉄オタ倶楽部(全10回) 子ども 85 名 サポーター 58 名 ネット・ゲームとのつきあい方講座(全9回) 親子 100 名 サポーター 49 名

そのほか、夏休み!! 宿題おたすけプロジェクト(2日)・寺子屋拡大版(1日)・春のおたすけプロジェクト(1日)を実施しました。

講座・研修 ※令和4年度は、全てオンライン開催

7/2 「読み書き障害(発達性ディスレクシア)-指導の実際-」 講師:村井 敏宏先生

12/27 「通常学級の『特別』ではない支援教育」 講師:佐藤 愼二先生

(共催:奈良県教育委員会特別支援教育推進室)

2/4 「応用行動分析で子どもたちの困った行動を解決!!」 講師:大久保 賢一先生

センターからのお知らせ

Facebook にてイベントのお知らせや活動記録をアップしています 📾

HP と合わせて、チェックよろ しくお願いします!

特別支援教育研究センター Facebook





奈良教育大学鉄オタ倶楽部 Facebook





令和 4 年度 活動報告

鉄オタ倶楽部

鉄オタ倶楽部は、発達障害のある子どもたちの"好き"をテーマに、集団の中で自然な仲間づくり、社会的スキルの獲得を目指したプログラムです。令和 4 年度は待望の大回り乗車に行ってきました!また恒例の発表会では初のオリジナル硬券を作成し、本物さながらの改札、アナウンスで来場の皆さんに楽しんでいただきました。





学習支援プログラム「寺子屋」 &「夏休み!!宿題おたすけプロジェクト」ほか

登録制の学習支援プログラム「寺子屋」と夏休みの「宿題おたすけプロジェクト」に加えて、令和 4 年度は冬休みと春休みにも 1 日ずつ学習支援プログラムを開催しました。毎回、子どもたちが楽しみながら学べるよう学生とアイデアを出し合って課題づくりをしています。





「親子で考える

<mark>|ネット・ゲームとのつきあい方講座」開講</mark>

近年、インターネットや ICT 機器等の充実により低年齢からインターネット依存、ゲーム依存が聞かれるようになりました。そこで、当センターでも予防や介入方法の検討のため親子参加型プログラムがスタートしました。ペアレントトレーニングと、認知行動療法や余暇支援、リラクゼーションを組み合わせたプログラムで、親子間、家族間の交流を深めることができました。今後もプログラムの効果検証や奈良県下の実態調査を進めていく予定です。

【お問い合わせ先】

奈良教育大学特別支援教育研究センター

住所:〒630-8528 奈良市高畑町 (奈良教育大学高畑キャンパス新館1号棟1階) TEL & FAX:0742-27-9314 *火・水・木 (祝日を除く) 午前10時~午後1時/午後2時~午後4時メールアドレス (事務):tokubetsu@nara-edu.ac.jp